

すでに5戸発生！

サルモネラ症に注意！

6月中旬から8月初旬にかけ、管内で既に5例の牛のサルモネラ症が発生しています。うち2例は、サルモネラ・ティフィムリウム(成牛の発熱・下痢)、2例はダブリン(哺乳牛の発熱・呼吸器症状・軟便)によるものでした。

◆ 牛のサルモネラ症の主な症状

- ①発熱(40℃前後) ②下痢・軟便(時に血便)
- ③乳量激減 ④呼吸器症状 ⑤子牛の死亡
- ⑥流産など

🚫 侵入防止

- ・導入牛の一定期間(3週間)の隔離・観察
 - ・敷地の出入口に石灰散布、牛舎ごとに踏込消毒槽の設置
 - ・野生動物や野鳥の侵入防止(防鳥ネット等の設置)
- 特に、飼料の管理には十分注意してください。

🚫 牛舎内での対策

- ・牛舎の定期的な清掃・消毒
(飼槽・水槽・ミルクバケツ、カーフハッチは特に念入りに！)
・・・ウォーターカップ周辺の残餌で菌は爆発的に増えます！
- ・子牛に十分な免疫をつけるために十分な初乳の給与を！

北海道網走家畜保健衛生所

電話:(0157)36-0725 FAX:(0157)36-5801